

毒薬と老嬢

1941年、ブロードウェイ初演のスリラー・コメディ

作 ジョセフ・ケッセルリング

訳 黒田絵美子

演出 デボラ・ティスノー

あなたも
しあわせを
一杯にがががっ

CAST

北林 谷栄
 賀原 夏子
 金田 賢一
 藤尾 美紀
 平松 慎吾
 柳沢 紀男
 山本 廉
 永田 博丈
 岩田 博行
 中島 しゅう
 引田 耕司
 斉藤 邦子
 増田 順司
 須賀不二男

STAFF

装置・照明=田田圭作
 音響=八橋泰彦
 衣裳=外崎里奈
 ドラマ アドバイザー=松本直樹
 舞台監督=原田俊雄
 メイクアップ=松丸久世
 制作=熱田 知(博品館)
 西沢 透(博品館)
 高橋純江(劇団NLT)
 芥 光生(劇団NLT)
 企画・製作=博品館プロダクション
 劇団NLT



Illustration By Taketoshi Harada

5月8日(金) → 24日(日)

日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
昼	2,000	2,000				2,000		2,000		2,000														
夜	6,300	6,300				6,300		6,300		6,300														

銀座8丁目
博品館劇場
 〒104 東京都中央区銀座8-8-11 ●交通=地下鉄:銀座・新橋 国鉄:新橋より徒歩

●前売所
 博品館1F TICKET PARK...571-1003
 劇団NLT...401-3781
 EPOCH...237-9999
 チケットセゾン...980-6666
 丸井チケットガイド...363-0101
 都内各プレイガイド

入場料金 4,000円(全席指定)
 ●お問い合わせ・電話予約
 博品館劇場 571-1003
 劇団NLT 401-3781

毒薬と老嬢

1941年、ブロードウェイ初演のスリラー・コメディ

「毒薬と老嬢」はスリラーですか? それともコメディ?
 ハイッ!! 大変にドキッとしますから……スリラーです。
 イヤイヤ、お客様は爆笑しますから…コメディです。
 それじゃ、「毒薬と老嬢」はスリラー・コメディとでも呼びましょうか。
 でも、本当はその呼び方でも充分ではないのです……

「毒薬と老嬢」の原題は“ARSENIC AND OLD LACE”である。“ARSENIC”とは、青酸カリ同様のヒ素のことで、“LACE”とは婦人が洋服の装飾用として用いるレースのことではなく、紅茶やコーヒーに混ぜて入れるブランデーやウイスキーのことである。原題をストレートに訳せば「ヒ素と古い火酒」ということになるが……

アビーとマーサの老姉妹は、ブルックリンの閑静な住宅街の一画に住む人の良い慈善家おばあちゃま。彼女らの家の前に立てられた「部屋貸します」の看板につられて、今日も又、年老いた人々が訪れる……

『マーサ、テディがまたルーズベルト・ラッパを吹きはじめたわヨ! いいかげんにしてほしいわ、テディ、テディ!』
 「ほうっておきなさいヨ。ねえアビー、そんなことより、モーティマーの結婚がきまってなによりだね」『それがとなりの牧師さんの娘、エレーンだったとはネ。これで私達も心おきなくできるわね、アレが』
 「アビー、誰か来たみたいよ、また部屋を借りにきた孤独なおじいちゃまかしら、うれしい!」『それじゃあ、さっそく自慢の料理のウデ(?)をふるって、おもてなしなくちゃネ』「どなたにも、いつも気に入っていただけるのよネ。私達の手料理と秘蔵のワインは…」『あら、マーサ、違うわ、モーティマーよ。あの子はこのワインを味わうには若すぎるわ。だって、彼の人生はこれからなんですもの…』

かくして、ブロードウェイで1941年1月から1944年6月まで3年半もの間に1400回あまりのロングランを記録したかわいなおばあちやまたちのスリラー・コメディの幕は切っておとされたのです。



北林谷栄



賀原夏子



藤尾美紀



金田賢一



増田順司



須賀不二男



平松慎吾



柳沢紀男



山本 廉



永田博丈



岩田博行



中島しゅう



引田耕司



斎藤邦子

5月8日(金)→24日(日) (全席指定) 入場料金4,000円

日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
昼		2:00	2:00			2:00			2:00	2:00			2:00			2:00	2:00
夜	6:30	6:30		6:30	6:30	6:30	6:30	6:30	6:30		6:30	6:30	6:30	6:30	6:30	6:30	

●前売所 博品館1F TICKET PARK…571-1003
 劇団NLT…401-3781
 ぴあ…237-9999
 チケットセゾン…980-6666
 丸井チケットガイド…363-0101
 都内各プレイガイド

●お問い合わせ・電話予約
博品館劇場 571-1003
劇団NLT 401-3781